大阪府/国の業種別ガイドラインに基づいた イベント開催時に考慮するコロナ対策チェック

イベント開催の要件

- ① 収容人数上限 → 5000人以下 [屋内] 50%以下 [屋外] 2m 間隔を担保 ※1000人を超す場合は事前に大阪府に相談
- ② 参加者の把握 → 可能な限り事前予約制 名簿作成/接触確認アプリ(cocoa)の奨励
- ③ 参加者の制限 → 検温 / 払い戻し措置の規定 ※ただし開催前に規定を公表し、十分に周知している場合は払い戻し不要。
- ④ 行動の管理 → 分散指示 / 対人距離確保用の人員配置
- ⑤ 連携体制の構築 → クラスター発生時、速やかに関係部局に情報提供・共有 ※感染が凝われる人がいる場合、速やかに別室に隔離し保健所に連絡。
- ⑥ ガイドライン遵守の公表 → 業種別ガイドラインに従う旨を公表

すべての場面が対象となる基本的な対策

v		
	マスク常時着用	持参が無い場合は主催側で配布・販売し、着用率100%を担保。
	大声を出さない	大声を出す人がいる場合、個別に注意をする。 声を出す演者がいる場合、観客まで一定の距離を担保(2m)
	検温	37.5℃以上、または体調不良を自覚する人の入場を断る
	こまめな手洗い	こまめな手洗い・アルコールディスペンサー使用の奨励 トイレ・出入り口での手指消毒の指示表示
	対人距離の確保	1 グループを 5 人までとし、異なるグループ間では 1 席空ける 立席の場合は 1m (2m が理想) 以上空ける
	こまめな換気	機械換気による常時換気、または常時窓開け(室内は18℃以上に) 上記が難しい場合、HEPAフィルター付き空気清浄機を使用
	適度な湿度の確保	換気をしながら同時に加湿をする。(湿度 40% 以上を目安) 加湿器の使用 / 濡れたものを干す / こまめな拭き掃除
	こまめな消毒	施設内(出入り口 / トイレ / 共用部) や共有物の消毒 特にテーブル / 椅子 / ドアノブ / スイッチ / タッチパネル / 手すり エレベーターのボタンなどは消毒の頻度を上げる

施設管理

	共用部の消毒	他者と共用する物・場所の消毒の徹底	
	飛沫防止	受付時や販売を行う際はアクリル板や透明カーテンを使用し 参加者との間を遮断 パンフレットなどの手渡しは避ける	
	清掃時の注意	清掃やゴミの廃棄時には、必ずマスク・手袋の着用を徹底 作業を終えた後は石鹸と流水での手洗い	
	レイアウトの注意	椅子は対面ではなく、並列に間隔 (1m)を空けて並べる 密にならないような展示レイアウトを行う	
	その他の注意	多くの人の手が触れるようなサンプルや見本品を扱わない	
.	トイレ		
	定期的な消毒	便座 / 床 / ドアノブなどの清掃消毒の徹底	
	ペーパータオルの使用	ペーパータオルや個人用タオルの用意	
	注意喚起の表示	トイレの蓋を閉めてから流すよう注意喚起を表示	

飲食が伴う場合の対策

\checkmark	
□ マスク着用の指示	飲食時以外はマスク着用厳守を促す
□ 過度な飲酒の自粛	注意する人員の確保
□ 食事時間の短縮	飲食時間の短縮を促す
□ エリアの制限	透明アクリル板やビニールカーテンを使用したり、座席広く空け、 換気が強化されているエリアなどを別で用意し、飲食時はその エリアへの移動を指示・促す